

令和3年度

千葉県公立高校入試

出題内容と傾向

国語

令和3年度 千葉県立入試問題 出題内容と傾向

大問	小問(問題内容)	傾向分析
一	<p>※町の図書館でレファレンスを利用をしている中学生と、図書館職員との会話。</p> <p>(1) 職員への相談で進展したこと(選択肢) (2) 発言の意図(選択肢) (3) 目的の資料の分類表示(2つ・選択肢) (4) 会話から読み取れる発言者の考え(選択肢)</p>	<p>例年同様会話の後に設問を放送する形式。今年 は図書館で職員に相談しながら、調べ学習に必要な資料を探すというテーマ。会話を聞きながら資料を適切に参照して答える問いや、会話から発言者の意図を類推する問いなどがあり、状況の把握がポイントとなる。</p>
二	漢字の読み(携えて・旋律・掌握・琴線)	常用漢字の範囲内。難易度は昨年と同程度。
三	漢字の書き(群れ・奏する・任務・推移・博覧)	教育漢字の範囲内。例年四字熟語が出題されていたが、今年「博覧強記」の「博覧」のみを書かせるなど難易度を下げるための配慮が見られる。
四	<p>説明的文章の読解(論説文)</p> <p>桑子敏雄「何のための『教養』か」 (1) 文法・「ない」の品詞の識別 (2) 適語補充(選択肢) (3) 表現の内容(選択肢) (4) 主題(選択肢) (5) 比喩表現の内容説明(記述・25～40字) (6) 二つの文章の内容についてまとめた説明文完成(2か所、Iは抜き出し・5字、IIは選択肢)</p>	<p>論説文の出題が続いている。今年「教養」の大切さを論じる文章で、一つの出典から二つの箇所を提示している点が新しい。小問数は昨年同様。一昨年まで出題されていた文章構成に関する問いは今年も出されず、文中の表現に着目した問いが中心となっている。(5)の記述問題は昨年より大幅に字数が増え、提示された形式にまとめるのが難しい。(6)の文章全体にかかわる説明文完成の問いはよく出される。</p>
五	<p>文学的文章の読解(小説)</p> <p>柚木麻子「本屋さんのダイアナ」 (1) 登場人物の心情(選択肢) (2) (a) 語句補充(抜き出し・1文) (b) 適語補充(選択肢) (c) 語句補充(抜き出し・10字) (3) 登場人物の様子(選択肢) (4) 表現の内容と特徴(選択肢) (5) 本文の主題についての説明文完成(2か所、Iは記述・20～25字、IIは抜き出し・漢字2字)</p>	<p>時代小説が続いていたが、4年ぶりに現代小説の出題となった。書店員の主人公がかつての親友と店で話す場面。(2)の枝問を含めると小問数が昨年から2問増えている。今年(2)の表現の理解に関する生徒の対話形式の出題が新しい。例年、心情把握の問いが中心だが、今年(2)の表現の内容や特徴に関する出題が中心となっている。例年どおり記述問題は条件どおりにまとめるのが難しい。</p>
六	<p>古典</p> <p>「平治物語」 (1) 登場人物の行動(選択肢) (2) (a) 表現の技法や特徴(選択肢) (b)(i) 主語にあたる人物の指摘 (ii) 心情説明(記述・10～20字) (3) 登場人物の行動の理由(選択肢) (4) 表現の内容(選択肢) (5) 漢文返り点</p>	<p>(2)の枝問を含めると小問数が昨年より2問増えている。例年出題されていた歴史的仮名づかいや、文章理解に関する説明文完成の問いが消え、内容の解釈に関する問いが中心。(2)は係り結びや古文独特の表現についての知識を問うもので、特に「袖をしぼりかねる」が表す心情を指定の形式でまとめる問いは難しい。</p>
七	<p>作文</p> <p>課題作文。「自己評価」について高校生に質問した結果の資料を見ながら条件にしたがって書く。 ・字数は200字詰原稿用紙(20字×10行)の範囲 ・二段落構成とし、前段には、選んだ項目のグラフが示す結果に対する考えとその理由を書き、後段には、「自己評価」を高めるために取り組みたいこととその理由を書く。</p>	<p>ことわざや比喩表現の説明文、グラフや表・ポスターなどの視覚的な資料を見ながら考えを書く形式が多い。今年「自己評価」という自身の内面に関する出題。昨年より条件はシンプルだが、抽象的なテーマであるため、考えについての理由を論理的に述べられるかどうか重要となる。</p>
総評	<p>「言葉の特徴やきまりに関する事項」の大問が消え、大問の数が7題となったのが最も大きな変更点。その他、説明的文章で同出典から二つの文章を出題したり、文学的文章で対話形式の出題をしたりするなど、新しい形式が見られた。例年出されていた歴史的仮名づかいや敬語の書き換え問題が消えるなど、大小含めて変化が多く、昨年までの傾向に合わせて対策していた受験生は戸惑ったのではない。選択肢の問いは難易織り交ぜてあり、じっくり読みこんで正誤を吟味する力が必要。記述問題はいずれも条件どおりにまとめづらく、例年どおり難度が高い。全体に知識・表現力の両面からアプローチした出題となっており、今後もこの傾向に合わせて対策が必要であろう。</p>	

数 学

令和3年度 千葉県立入試問題 出題内容と傾向

大問	小問(問題内容)	傾向分析
1	数と式の計算 (1) 整数の乗法 (2) 累乗を含む四則計算 (3) 分配法則と式の減法 (4) 連立方程式の解き方 (5) 平方根の計算 (6) 二次方程式の解き方	(1)は2つの整数の加減乗除, (2)は累乗を含む四則計算, (3)は分配法則と式の減法で, 例年通り。(3)は4年連続で分数を含むものであった。(4)は, 昨年是一次方程式が出題されたが, 今年は連立方程式が出題された。(4)の出題内容は, 等式の変形や比例式など多岐に渡る。(5)は平方根の計算で, 4年連続で有理化を含むものであった。(6)は, 昨年は因数分解が出題されたが, 今年は二次方程式が出題され, 平成27年度以降, 交互に出題されている。いずれも基本問題であるため, 正確に計算したい。
2	小問集合 (1) 資料の整理 (2) 不等式 (3) 円柱の表面積 (4) 確率 (5) 作図	平成26年度以降, 小問5題の形式が続いている。(1)は資料の整理で, 7年連続で出題されている。代表値の意味をしっかりと把握しておきたい。(2)は不等式の問題。「以下」には「=」も含まれることに注意したい。(3)は空間図形で, 円柱の表面積を求める問題。(4)は確率で, 昨年同様, 2つのさいころの出た目の数と式の値に関する問題。(5)の作図は, ここ数年, 平易な問題が続いているが, 今年は特に易しかった。例年, 2では幅広い知識と理解が必要とされる。今年は特に難問はなく, 典型問題が並んでいた。普段から教科書の内容をきちんと理解し, 基礎力を身につけておきたい。
3	関数 (1) 直線の式 (2) ① 図形の面積 ② 図形の面積と点の座標	7年連続で, 二次関数が出題された。(1)は2点の座標から直線の式を求める基本問題。また, (2)①は平行四辺形の面積を求める問題, (2)②は平行四辺形の面積から点の座標を求める問題で, どちらも, 平行四辺形の面積は対角線によって2等分されることを用いれば, 方針が立てやすい。(2)②は条件を満たす値が2つ存在する。関数と図形の融合問題は毎年出題されるため, 苦手意識を持たずに臨みたい。
4	平面図形 (1) (a), (b) 証明・穴埋め (c) 証明・記述 (2) 線分の長さ	(1)は円の性質を用いて三角形の相似を証明する問題。例年通り, 前半穴埋め, 後半記述形式であったが, 今年は後半の記述量がやや少なく, 内容も平易であった。(2)は線分の長さを求める問題で, 三平方の定理を用いて解く応用問題であった。半円の弧に対する円周角が 90° になることや中点連結定理など, 知識として覚えるだけでなく, 使いこなせるようにすることが大切。
5	総合問題 (1) (ア), (イ) 説明・穴埋め (2) 4の倍数となることの説明 (3) m, n の値の組み合わせ	昨年に続き, 式の活用(規則性)が出題された。規則的に並べられた自然数に関する問題で, 4段ごとの周期で考えることがポイント。(1), (2)は, 各段の「最大の数」や「最小の数」など, 列に着目する必要がないため, 取り組みやすい。3年連続で記述形式の問題が1問出題されていて, 今年は, (2)で「4の倍数となること」を式を用いて説明する問題であった。内容は易しいが, 記述の仕方に慣れていない受験生は戸惑ったかもしれない。(3)は場合の数を求める問題で, 条件を整理し, 手早く処理する能力が試された。
総評	平成10年度入試から続いている1~5の大問構成は変わらない。小問数は昨年同様22問で, 配点も昨年同様であった。3関数, 4平面図形, 5総合問題の並びは平成26年度入試から続いている。5では, 平成31年度から記述問題が1問入り, 一昨年は理由を記述する問題, 昨年は答えを求める過程を記述する問題であったが, 今年は式による説明問題であった。2の作図は, 以前は難問が出題されたこともあったが, 今年は, 平成30年度, 平成31年度と同様に易しい問題であった。全体的な内容としては頻出・典型問題が並んでおり, 極端に難しい問題は出題されていない。平均点は昨年度前期よりもやや上がると思われる。今年度は, 出題範囲から「標本調査」が除かれたが, それ以外の中学校3年間の学習領域全般から幅広く出題されている。確実に得点するためには, ケアレスミスをしないよう, 日ごろからの練習の積み重ねが大切である。	

英語

令和3年度 千葉県立入試問題 出題内容と傾向

大問	小 問(問題内容)	傾 向 分 析
1	短い対話の最後の1文に対する受け答えを選ぶ問題 3問(選択)	昨年に引き続き、今年も3問出題。No.1はDid you ~ ?, No.2はHow long does ~ ?, No.3はIt's by the window. に対する受け答えを選ぶ。総語数は昨年より24語多い80語。
2	リスニングテスト No.1 対話文の内容に合う絵を選ぶ問題 1問(選択) No.2 英文の内容に合う絵を選ぶ問題 1問(選択)	対話文1問、英文1問の構成は昨年同様。語数は、No.1 66語、No.2 62語で、昨年より28語少ない。14年連続して英文の後に「質問文(Question)」が読まれる形。今年もNo.2のイラストが「1枚の絵の中から正解の箇所を選ぶ」形に。
3	リスニングテスト No.1 英文の内容に関する英問英答 1問(選択) No.2 対話文の内容に関する英問英答 1問(選択) No.1 How many ~?, No.2 Who went ~?	総語数は165語で、昨年より6語多い。例年通り、質問は全て疑問詞で始まるもの。選択肢はNo.1が数を表す語、No.2は人を表す語句と、どちらもシンプルなものだった。No.1は、内容を聞きながら数を数える必要がある問題だった。
4	英語の文章を聞いて、その内容について答える問題 4問(記述) No.1 ① future, ② popular. No.2 ① February, ② birthday.	例年通り、「英文を聞いて、その内容に合うように、本紙に書かれた英文中に英単語を2語ずつ補う問題」が出題された。昨年に引き続き、No.2では、本文中では読まれない単語を答える問題が出題された。今年も、「生まれた月」や「プレゼント」といった表現をヒントに、birthdayを答える問題だった。
5	語形変化 文中の1語を、最も適当な形に直し、対話文を完成させる問題 2問(記述)	「語形変化(記述)」に変わって15年目。今年(1)は were(過去形), (2)は hottest(最上級)。
	整序問題 文中の5語を並べかえて、対話文を完成させる問題 3問(選択)	(3)はone of ~の文, (4)は疑問詞で始まる疑問文(What ~)に不定詞(名詞用法)を組み合わせた文, (5)はSVOC(made me interested)の文。
6	条件付英作文 4枚あるイラストの、4枚目のイラストの英文(3文)に続く内容を考えて書く。語の数は25語程度。 1問(記述) *英文は「こんにちは、ケンタ。どうしましたか」。「こんにちは、アレンさん。」	新傾向。例年は「1枚のイラスト」を元に文章を書く問題だったが、今年も「4枚のイラスト」の4枚目の空所に入る英語を書く問題になった。4枚のイラストの流れを踏まえて書く必要があるため、難度は高い。昨年の語数指定は「20語以上30語以下」だったが、今年も「25語程度」とされた。
7	短文読解問題 (1) 適語補充 2問(選択) (2) ① 内容一致文完成 1問(記述) ② 内容一致(英文) 1問(選択) (3) ① 内容一致文完成 1問(選択) ② 内容一致(英文) 1問(選択)	配点の変更になり全体で昨年より1点減の18点の配点に。(2)①は「英問英答」から「内容一致文完成」に変わり、(3)①の選択肢は「絵」から「語句」に変わった。(1)は「まばたき」、(2)は「トマトの歴史」に関する英文であった。(3)は「水族館のイベント」に関するもので、昨年同様、情報量が多い。
8	長文読解問題 (1) 内容一致 1問(絵選択) (2) 英問英答 1問(記述) (3) 内容一致(英文) 1問(選択) (4) 適語句補充 1問(記述)	新傾向。昨年は「5人の人物のイラスト+それぞれの発言」という形式の英文だったが、今年も「中学3年生のトモミが送った電子メールと、祖母のフサコからの手紙による返事」という形式の英文が出題された。本文の語数は昨年より10語程多い約450語。(1)は、「祖母の家に行った時のトモミの様子を表した絵」を選ぶ問題で、目新しい。(4)は、本文中に出てこない語句を書く問題だった。
9	対話文読解問題 (1) 適語句補充 1問(選択) (2) 適文補充 1問(選択) (3) 適語句補充 1問(選択) (4) 条件付自由英作文 1問(記述)	新傾向。例年、選択問題が4問出題されていたが、今年も1問が、10語程度の英作文になった。内容も「辞書上のnurseの定義を推測する」というもので、思考力・表現力が問われる問題であった。配点は全体で、昨年より1点増の13点の配点に。
総評	試験時間が60分に変更された。大問6の自由英作文の形式変更、大問9の自由英作文の追加は、大きな変更点と言える。それ以外の問題に関しては、例年とそれほど大きな変更がなく、受験生は落ち着いて試験に臨むことができたと思われる。例年通り、単語や文法といった基本的な項目から、長文読解や英作文といった応用力を問われるものまで、幅広く出題される問題であった。	

理 科

令和3年度 千葉県立入試問題 出題内容と傾向

大問	小 問(問題内容)		傾 向 分 析
1	小問集合	(1) 生物 「細胞壁」を書く (2) 地学 「銀河」系を書く (3) 化学 イオンに分かれない物質を選ぶ (4) 物理 圧力が最大になる置き方を選ぶ	例年同様、教科書に沿った基本的な知識を問う小問集合。1～3年生でバランスよく出題されている。(4)は図2から圧力が最も大きくなる面を選ぶ、思考力が必要な問題であった。
2	地学 地層と火成岩	(1) 火成岩のつくりの名称と火成岩の組み合わせを選ぶ (2) 火成岩の比較的大きな結晶のでき方を選ぶ (3) 観察した火成岩の名称を選ぶ (4) 地点Xが断層によってずれた方向と量を書く	地層や火成岩の観察についての問題。(1)～(3)は火成岩についての基本的な問題。火成岩のつくりや名称、でき方についての知識が問われた。(4)は地層についての基本的な問題。図4, 5から、情報を読み取る力が求められた。
3	物理 陰極線と磁界	(1) 電極Xを＋極、電極Yを一極として電圧を加えたときの陰極線のようすを選ぶ (2) 電圧計と電流計をつないだ図をかく (3) U字型磁石の磁界の向きと逆になる点を選ぶ (4) 抵抗器を変えたあとのコイルの動く向きと振れる幅をそれぞれ書く	陰極線と磁界の実験についての問題。(1)は陰極線の基本的な知識の問題。(2)は基本的な作図の問題で易しい。(3), (4)は磁界の基本的な問題で電流と磁界の関係についての理解が求められた。(3)はU字型磁石内のコイルが動く原理について理解していれば易しい。
4	生物 蒸散	(1) 水面に油を注いだ理由を書く (2) 葉の裏側から出ていった水蒸気の質量を選ぶ (3) ツクサの蒸散についていえることを選ぶ (4) 装置A～Cの質量が減少したことについて述べた文章を完成させる	蒸散の実験と観察についての問題。全体的に基本的で易しい。(1), (4)は蒸散についての基本的な知識を問う問題。(2)は表の値を使った計算問題、(3)は表からいえることを選ぶ問題で、どちらも表を読み取る力が求められた。
5	化学 水溶液の性質	(1) とけたミョウバンの質量を述べたものを選ぶ (2) ミョウバン水溶液のろ過を表した模式図を選ぶ (3) 20℃でろ過したろ液の質量パーセント濃度を選ぶ (4) ① 再結晶について述べた文を完成させる ② 溶解度の変化を利用して塩化ナトリウムの結晶をとり出せない理由を書く	水にとけた物質の質量について調べる問題。(1)は問題文から情報を読み取る力と思考力が求められた。(2)は図の読み取りであった。(3), (4)は資料を使って解く問題。(3)の計算問題は思考力が、(4)②の記述問題は前後につながる文で表現する力が求められた。
6	地学 気象観測	(1) 天気図を時間の経過順に並べる (2) 地点Wにおける、気温が変化した理由を前線の種類を示して書く (3) 地点X～Zの風向の組み合わせを選ぶ (4) 観測を行った間の気象について述べたものを選ぶ	気象観測についての問題。(1)～(3)は図の読み取りと思考力が求められた。(2)の記述問題では、図1のグラフから通過した前線を読み取る必要があった。(4)は選択肢の内容の細かい間違いに気付く注意力と知識が求められた。
7	化学 燃 焼	(1) 燃焼について述べた文章を完成させる (2) 銅が酸化するときの化学反応式を書く (3) 銅の粉末の質量と化合した酸素の質量の関係を表すグラフをかく (4) マグネシウムが酸素と完全に化合したときの酸化マグネシウムの質量を求める	金属を加熱したときの変化について調べる問題。(1), (2)は基本的な知識の問題で易しい。(3)の作図問題は、直線がすべての点の中心を通るグラフではないため、戸惑った生徒が多かっただろう。(4)は比を使う計算問題だが、基本的な内容で難易度は低い。
8	生物 自然界のつながり	(1) 実験で、ペトリ皿A, Bに起きた現象を選ぶ (2) 分解にかかわる生物の具体例を選ぶ (3) 菌類や細菌類のなかまについての説明を選ぶ (4) 生態系における二酸化炭素としての炭素の流れを示した図を選ぶ	土の中の微生物のはたらきを調べる問題。全体的に知識の問題で易しい。(1)は実験の結果から、(4)は図3から正答を導く思考力が必要であった。(3)は選択肢の内容を読み取る読解力と正確な知識が求められた。
9	物理 物 理 事	(1) 「仕事の原理」を書く (2) 水の入った容器の底にあるおもりにはたらく浮力を求める (3) 点B側のひも、点P側のひも、おもりをつないでいる糸が点Oを引く力をそれぞれかく (4) 実験3の②でのばねばかりの値を求める	物体にはたらく力について調べる問題。1年生の浮力と3年生の仕事の問題を融合した問題が出題された。(1), (2)は基本的な問題で易しい。(3)は重力とそれにつり合う分力をそれぞれ作図するため難しい。(4)は幾何的に考え、何段階か計算して求める難問であった。
総 評	例年通り、大問1は小問集合、大問2～9は物理・化学・生物・地学の4つの分野から2題ずつの出題。昨年同様、大半が教科書に沿った実験・観察を題材にした問題であった。今年は知識を見る問題が中心で記述問題や作図問題も難しいものは少なかったため、昨年より全体的に易しく感じた生徒が多かっただろう。しかし、大問9では難易度の高い問題が出題され、図や表を読み取る問題が多く、選択肢の内容を正しく把握できる読解力や正確な知識が求められる問題も出題された。図や表を読み取る力が求められる傾向にあるので、資料の読み取り問題に多く触れる必要がある。		

社 会

令和3年度 千葉県立入試問題 出題内容と傾向

大問	小 問(問題内容)		傾 向 分 析
1	総合問題	(1) 地理…南アフリカ共和国の人種隔離政策 (2) 歴史 ①アメリカの民主政治に関する演説 ②日本の民主政治のあゆみの年代順 (3) 公民…政策決定に関する各国の若者の意識調査	政治・民主主義をテーマに出題。(1)は世界地理の、(2)①は南北戦争の基礎問題。(2)②は年代が近いのでやや難。(3)は例年通り資料読み取りの問題で、資料を活用し分析する力が問われる。
2	日本地理	(1) 東北地方の海流と伝統行事について (2) 北海道の世界遺産 (3) 四つの地点の雨温図 (4) ① 地形図の読み取り ② 地形図上の移動の様子	(1)は県名や県庁所在地名などを問う例年の問題がなくなり、海流と伝統行事の出題。(2)は世界遺産の問題。(3)は各地方の雨温図の特徴を確認しておく。(4)①は地形図の基本的な読み取り。②は問題文を丁寧に読み取れば、比較的容易。
3	世界地理	(1) 台湾の地球上の正反対にある地点 (2) オーストラリアとその属する州 (3) マレーシアなどでみられる大農園 (4) 焼畑農業の説明(短文記述) (5) 4か国の自動車に関する資料の読み取り	(1)は経線・緯線の理解が必要。(2)の各国の気候などの特色は確認しておく。(3)の「プランテーション」は基本的な知識を問う問題。(4)は焼畑農業の仕組みについての理解が必要。(5)は資料を丁寧に読み取れば比較的容易なので、注意深く確認する。
4	歴史分野(前近代)	(1) 朝鮮半島などから移住してきた人々 (2) 平城京と奈良時代について (3) 室町幕府の滅亡についての説明(短文記述) (4) 開国に関するできごとの年代順 (5) 会話文のテーマの読み取り	日本の交易をテーマとする出題。(1)(2)は基本問題。(3)は足利義昭と室町幕府の滅亡とを関連付けた理解が必要。(4)は幕末の開国前後の流れを理解しておく。(5)は新傾向の出題。会話文全体からテーマを読み取る力が問われた。
5	歴史分野(近現代)	(1) 大日本帝国憲法による政治の仕組み (2) ロシア革命に干渉する出兵 (3) 原敬が組織した内閣 (4) 満州事変と日本の国際連盟脱退 (5) 中華人民共和国建国以降のできごとの年代順	(1)は「枢密院」について出題された。教科書欄外の資料や解説の内容で難しい。(2)(3)は基本問題。(4)は国際連盟脱退までの流れを理解しておく。(5)は選択肢四つの年代順となった。世界史の内容で香港返還の年代もあり難しい。
6	公民分野(経済)	(1) 資金の調達の方法について (2) 金融機関の種類 (3) 金融政策の公開市場調査の説明(短文記述) (4) 電子マネーの利用に関する資料の読み取り	(1)は金融に関する基本問題。(2)は教科書の資料の内容。(3)は日本銀行の中央銀行としての役割を理解しておく。(4)の資料読み取り問題は、選択肢が長いので丁寧に読み解いていくことが重要。
7	公民分野(政治)	(1) 新しい人権について (2) 間接民主制において選挙で選出されるもの (3) 国民審査と衆議院議員総選挙について (4) 直接請求権で、条例の制定を求める場合の請求先と必要な署名数	(1)は憲法の条文と内容の理解が必要。(2)は日本国憲法の前文中の語句から答えを導き出す。(3)は最高裁判所の裁判官の国民審査と衆議院議員総選挙の選挙の仕組みの両方の理解が必要。(4)は50分の1以上を正確に計算する必要があり難しい。
総評	大問数は、公民分野の国際社会が出題範囲から外れたため、昨年より一つ少なくなった。公民全体の小問数や配点は変化なし。短文記述問題は、昨年同様地理分野、歴史分野、公民分野から1問ずつ出題された。苦手とする受験生が多い年代順並べ替え問題は昨年度同様2問出題され、難易度は上がった。また、教科書本文以外で扱われている内容からの出題もあり、資料や図、解説などについても注意が必要な問題もあった。しかし、多くの語句記述や選択問題は基本的な問題で、重要語句が中心であった。全体的な難易度は昨年と同程度と思われる。		

